

第5回 FD 学習会で人間学部の宮嶋学部長が実践報告

大学教育開発センターは7月18日、天白キャンパス共通講義棟東で、第5回 FD 学習会を開催しました。今回は、講師に人間学部の宮嶋秀光教授を迎え、「学生の主体的な学びを促進するアクティブ・ラーニングー名城大学人間学部『現代に生きる』の実践ー」をテーマに実施しました。講演では、人間学部で開講している基軸科目「現代に生きる」を題材として、学部を横断した教員チームによる科目の運営体制や成績評価の工夫、今後の課題等についての情報提供がありました。

実施後の参加者アンケートからは、「教員がユニットを組んで情報共有をしながら授業の工夫をしているのが素晴らしいと感じた」「総合大学の強みを認識できた」「授業運営のテクニカルだけでなく、授業のバックグラウンドとなる考えや経緯が紹介され、分かりやすかった」といった意見がありました。

最後に、安藤喜代美大学教育開発センター長が「学生をアクティブにするためには、教員も情熱を持ってアクティブな講義を行うことが重要です。今後も FD 企画を通じて、学内で行われているアクティブ・ラーニングの取り組みを共有していきたい」とまとめ、閉会しました。

